

令和6年

雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和6年6月14日～6月18日】

令和6年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/14(金) 9時30分～	14／佐藤 隆司	一問一答	1～3	11	6/18(火) 9時30分～	2／安田 栄太	一問一答	22～23
2		17／藤原 信宏	一括	3～6	12		8／上代 和美	一問一答	23～26
3	6/14(金) 13時00分～	10／中林 孝	一問一答	6～7	13	6/18(火) 13時00分～	11／松林 孝之	一問一答	27～29
4		5／鶴原 能也	一問一答	7～10	14		12／中村 辰眞	一問一答	29～31
5		13／原 祐二	一問一答	10～11	15		15／周藤 正志	一問一答	31～33
6	6/17(月) 9時30分～	1／多賀 法華	一問一答	11～14					
7		16／細田 実	一問一答	14～15					
8	6/17(月) 13時00分～	4／上代 純子	一問一答	15～17					
9		6／梶谷 佳平	一問一答	17～20					
10		7／宇都宮 晃	一問一答	20～22					

令和6年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和6年6月5日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	14	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 目指される地域 包括ケアシステム について 2. 「神話の里」うん なん観光戦略につ いて	<p>(1)介護は、高齢化や核家族化の進行、介護離職問題などを背景に介護を社会全体で支えることを目的として平成12年(2000年)に創設され、四半世紀が経過する中で、高齢化率は上昇し、医療・介護へのニーズは様々でかつ要介護者は増加が見込まれ2025年問題といわれる中、高齢者等が要介護などの状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく人生の最期まで暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」構築の更なる深化が求められている。</p> <p>①令和元年度(2019年)から地域包括支援センターの運営を雲南市社会福祉協議会へ委託されてから5年が経過したがその成果と課題を伺う。</p> <p>②在宅ケアを担う訪問介護サービスの基本報酬が2024年4月から「身体介護」・「生活援助」共に2～3%引き下げられたが、中山間地域の事業所の現状をどう把握されているのか伺う。</p> <p>③訪問介護の特別地域加算の対象地域や事業所要件のハードルが高いと聞くが認識を伺う。</p> <p>④慢性化した介護人材不足に加えて、賃上げや物価高騰は二重苦、三重苦の状況だ。対策を講じる必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)第3次総合計画の基本構想が策定された。これまでの総合計画の基本理念である「生命(いのち)と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」から「変わらず、変える」とされたが、「えすこな雲南市」の将来像のスタートは「神話」から始まる。</p> <p>①合併後20年間基本理念の「神話」をまちづくりにどう活かされた</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 「花いっぱい運	<p>のか、また、どう検証されているのか伺う。</p> <p>②人口減少による地域課題解決の手段の一つとして、観光戦略は地域経済の活性化を促し、雇用の創出、移住・定住といった効果も期待ができ、ひいては課題解決につながる可能性が大きいと考えるが認識を伺う。</p> <p>③出雲神話の「ヤマタノオロチ伝説」にまつわる伝承地が多数存在する本市、そうした「神話」を基本計画の12の施策の一つ「みんなのたからを誇るまち」の中でどう活かす考えなのか伺う。</p> <p>④2025年8月頃営業開始が予定されているホテル「ドリーミン」をはじめとする宿泊施設（清嵐荘・既存旅館・バンガローなど）を観光戦略の起爆剤にしなければならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤起爆剤にするためにはそれぞれの宿泊施設の特長を活かすことが求められるがどのような戦術を考えるのか伺う。</p> <p>⑥インバウンドが身近に感じられるようになったが、受け入れには外国人観光客向けのサービスである（インバウンド対策）「言語対策」や「決済対策」が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑦外国人観光客向けの言語や決済サービスに対し、今後に向けて普及・推進の考えを伺う。</p> <p>⑧平成元年に国道54号を「出雲神話街道」に、平成26年に中国横断自動車道・尾道松江線を「中国やまなみ街道」に道路の愛称が公募により決定された。国道314号（島根県区間）の愛称を神話に因んだ愛称「〇〇街道」と公募、決定することで更なる圏域のPRをされたいが可能性を伺う。</p> <p>(1)令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が広島県</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			動」で笑顔あふれるまちづくりについて	<p>を主会場県として、中国ブロックで開催される競技のうち雲南市はレスリング競技会場が予定されている。また、令和 12 年（2030 年）には第 84 回国民スポーツ大会及び第 29 回全国障害者スポーツ大会の開催がされる競技のうち雲南市はレスリング、ソフトボール、ローイング（ボート）競技が予定されている。</p> <p>①42 年前のくにびき国体では「花いっぱい運動」でサルビアの花などで選手団を歓迎し大会を盛り上げた。今年の「かごしま国体」や一昨年の「とちぎ国体」でも「花いっぱい運動」が展開されている。インターハイまで 1 年、国スポまで 6 年であり市民総動員による「花いっぱい運動」で心弾む笑顔があふれるまちづくりにより大会機運を盛り上げることも必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>②「花いっぱい運動」の市の取り組み状況や各地域などで市民の皆さんが花づくりをされている現状を伺う。</p> <p>③春の桜やつつじのほか四季折々の新たな花スポットづくりにより、オールシーズンで楽しめるまちづくりも必要であり、「花いっぱい運動」を地域自主組織や各自治会、グループ、学校、事業所などの取り組みを推進することで、わかりやすい見える形での協働のまちづくりにつなげることも必要ではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>④「花いっぱい運動」の推進には、花苗や土、木製プランターなどにかかる費用の一部の支援や「花コンテスト（コンクール）」等も検討する必要があるが見解を伺う。</p>	
2	17	藤原 信宏 (一 括)	1. 人口減少対策について	(1)先般、人口戦略会議が全国 744 の消滅可能性自治体を公表した。10 年前の日本創生会議発表から、島根県が可能性脱却全国 1 位の中で、市では雲南市だけが取り残された。市長は、脱却できなかった	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 新教育長の所信 について	<p>原因をどう捉え、今後の人口減少対策の取り組みを修正する考えがあるかどうか、見解を伺う。</p> <p>(2) 少子化・人口減少は国全体の問題で、若年女性等の自治体間の争奪戦では根本的な解決はできず、国を挙げて新たな改革に乗り出すことこそ重要だ。地方創生等の政策を検証し、東京圏一極集中の是正や出生率の向上などの自然減対策、労働環境の改善を図るなど、地方から国へ強く要望すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 人口減少の中でも豊かさが実感できる社会を実現するには、市街のコンパクト化やインフラの整理が不可避であると共に、県を含めた近隣自治体との広域連携の推進が一層重要となると考えるが、どうか。併せて、関係人口拡大の取り組みについての所見を伺う。</p> <p>(1) 「教育は生きる力を磨き高めること」との教育理念について、所見を伺う。また、将来にわたり持続可能な地域とするための地域を担う人づくり、教育による人材育成・確保についての所見は。</p> <p>(2) 家庭教育は、「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する全ての教育の出発点である。少子化・核家族化、地域との関係の希薄化や現代的な課題が多様化する中で、保護者が安心して時代に合った子育てや家庭教育ができるよう、家庭教育力向上に向けた支援の必要性についての見解を問う。</p> <p>(3) 国の教育振興計画に掲げる「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の実現のために必要と考える DX 化の推進と部活動改革についての所見を問う。</p> <p>(4) 激増する児童生徒の不登校への対策について。率直に伺う。学校は何のために行くのか、行かなければいけない所なのか。それらも</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 建設業の働き方 改革について	<p>含めて不登校に対する考え方はどうか。</p> <p>(5) 外部機関との連携や教育支援センターの充実強化など様々な取り組みは承知しているが、問題は、不登校児童生徒の半数に専門的な相談や指導が届いていないことである。このような現状についてどう認識し、継続的に見守る支援体制をどう構築していくのか伺う。</p> <p>(6) 教職員の負担軽減とケアについて。働き方改革は最重要課題である。教育活動の見直し、業務の効率化や削減、人的支援など、教職員の負担軽減策と、実態に応じた教職員のケアに対する考えは。</p> <p>(7) 生涯学習・社会教育について。社会のウェルビーイング向上に向け、リカレント教育も意識した生涯学習の推進はできないか。また、文化・芸術活動の推進、スポーツ振興・健康づくりへの抱負は。</p> <p>(1) 週休2日工事の導入や、猛暑日を考慮した週休2日等を確保する適正な工期の設定、並びに発注時期が偏らない平準化の更なる推進による就労環境改善の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 建設キャリアアップシステム (CCUS) の導入を促進し、客観的な技能の評価や事務事業効率化による適正な労働時間を確保する対策について伺う。</p> <p>(3) 生産性向上に向けた ICT 活用工事の導入や、市内企業を後押しする支援、研修・情報提供など、ICT 施工の普及拡大に向けた取り組み推進について伺う。</p> <p>(4) 公共工事の物価等高騰への対応について。発注時において、労務単価を含め、最新の単価・取引価格を反映した価格で契約するよう心掛けているか。また、契約後の資材価格高騰等におけるスライド制度の適切な運用が行われているのか、伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(5)建設関連業の従事者確保・育成が急務だが、そのためには安定的な公共工事の発注量が不可欠だ。持続的・安定的な公共建設事業予算の確保について、所見を伺う。	
3	10	中林 孝 (一問一答)	1. 雲南省の将来像 について 2. 教育について	(1)先頃「人口戦略会議」が公表した消滅可能性自治体に雲南省が含まれた。所見を伺う。 (2)本市の人口減少に歯止めがかからない。今後の対策を伺う。 (3)市保有の遊休地や民間から要望のある土地を活用して住宅供給する事業も必要ではないか、所見を伺う。 (4)5月23日、JR西日本は木次線についても地元との協議の意向を示した。本市の対応方針を伺う。 (1)教育長就任に当たり抱負を伺う。教育職と行政職の違いをどう認識し教育長としての職務を遂行する考えか。 (2)市内小中学校の児童生徒の虫歯罹患率の実態について伺う。国、県との比較及び対策について伺う。 (3)市内小中学校の不登校児童生徒の実態および原因と対策について伺う。 (4)今までの全国学力学習状況調査結果をどのように受け止めているか。改善策は進んでいるか。 (5)教育に関する大綱の要旨を伺う。大綱の求める姿と本市の現状について所見を伺う。 (6)本市は小中一貫教育と義務教育学校をどのように考えどのように進める考えか。市民を巻き込んだ議論は十分といえるか。 (7)市報うんなん5月号に中高一貫教育に言及した箇所がある。小中一貫教育についてさえ十分に理解が深まっていない中で唐突感があ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 林業について	<p>る。真意は何か、何を企図しているか。</p> <p>(8)大東高校の入学者数が減少し学校の存続が懸念される。今春、整備された寄宿舎の利用状況、効果、そして学校存続にむけた市の所見、対策を伺う。</p> <p>(1)本市の林業の実態（林家の戸数、樹種と齢級、市等公的機関が所有している森林面積と資源量等）を伺う。</p> <p>(2)市産材の公共建築物への利用状況が十分とは言えない。今後の取り組み方を伺う。</p> <p>(3)円安の為替相場でも、また、数度のウッドショックを経ても本市の林業が活性化しているようには思えない。本市の林業は生業となりうるか。生業とするためにどうするか。</p> <p>(4)循環型林業を構築するために本市で十分とは言えない（ネックとなる）サプライチェーンとは何か。行政としてすべきことは無いか、所見を伺う。</p>	
			4. 市制施行 20 周年について	<p>(1)市制施行 20 周年を迎えるにあたり、どのような事業を計画しているか。それで十分か。</p>	
4	5	鶴原 能也 (一問一答)	1. JA しまね吉田肥育センター事業承継者の公募について	<p>市長は、3 月定例会所信表明において、JA しまね吉田肥育センターは現状の機能維持を前提として、事業の引継が可能な事業者を探すと述べられた。4 月に JA しまね吉田肥育センターの事業承継者が公募されたが、次の点について伺う。</p> <p>(1)現在水道料金は、平成 16 年 4 月 1 日に締結された「協定書」に基づき、使用量に関係なく一定額（月額 17,969 円）が徴収されている。雲南市水道事業給水条例に基づき使用料金を算出した場合、直近の JA しまね吉田肥育センターの水道料金は月額いくらになるの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市の DX 化 について	<p>か問う。</p> <p>(2)公募要領に、土地賃貸料については「別途協議する」とされていること、また水道料金も現在は「個別協定」に基づく料金の徴収であることなど、承継資産に関わる価格が明確でなく、整理されていない実態にある。公募にあたっては、承継のための条件を全て明らかにするべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)応募期限とされている 4 月 30 日までに JA しまね雲南地区本部に事業承継申込書が提出されたのか伺う。</p> <p>仕事、観光、医療・介護などのあらゆる場面で、雲南市の活性化や行政の効率化を図る上で、ICT の利活用は重要である。</p> <p>(1)第 2 次雲南市情報化計画に、「安全・安心で快適な市民生活の実現」のため、公共施設及び観光施設等への公衆無線 LAN (Wi-Fi) の設置が計画されているが、設置対象の公共施設、観光地とは具体的にどこか伺う。</p> <p>(2)計画策定時に、公共施設 3 箇所(市役所本庁舎、市立病院、大東図書館)、観光施設 5 箇所(稲わら工房、須我神社、雲南市観光協会、奥出雲葡萄園、菅谷たたら)、市内道の駅 4 箇所(さくらの里きすき、おろちの里、掛合の里、たたら壱番地)へ設置(整備)されているが、以降、新たにどこに設置されたのか伺う。</p> <p>(3)第 2 次雲南市情報化計画は必要に応じて見直すところがあるが、今後の公衆無線 LAN (Wi-Fi) 設置計画も含め、令和 7 年度以降の情報化計画について見解を伺う。</p> <p>(4)毎年 5 月 1 日付け雲南市長名で固定資産税明細書が送付されてくるが、山林については所有している事実は認識しているものの、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 空き家対策について</p> <p>4. ビジネスホテル建設について</p>	<p>保安全管理をしていないことから所在地、また何が植栽されているのか、成育状況など分からないという声を聞く。人が山に入り植栽状況(木の種類、本数、太さなど)を手作業で確認する作業を効率化するため、ドローンを活用することにより植栽情報等を取得できないか、また、この情報を山林所有者に広く提供できないか、併せて林業ビジネスの活性化に繋げることが出来ないか見解を伺う。</p> <p>(1)出雲市、津和野町、隠岐の島町において、特定空き家が「空き家対策特別措置法」に基づく行政代執行で解体・撤去されたが、今、大東町の危険空き家が「特別措置法」に基づく行政代執行に着手できない理由を伺う。</p> <p>(2)管理不全空き家の発生抑制策として、団塊の世代からの大量相続が近づき、今年4月から不動産の相続登記が義務化された。</p> <p>①市町においては、担当部局と支援団体が協力して、「我が家の終活を」というようなセミナーを開いたり、家族、親族で事前に相続について話し合う機会を提案するような取り組みを行っているが、雲南市の取り組みの実態と支援内容等について伺う。</p> <p>②大東町内のある自治会では、「空き家を発生させないことを重要課題」として、“空き家問題と空き地問題への自治会の対応”指針を作り、空き家、空き地の発生防止に取り組んでいる。市として自治会と連携した空き家の発生防止、空き家の管理についての取り組みの実態等について伺う。</p> <p>中心市街地活性化基本計画の中で、宿泊客の市外流出を防ぎ、交流人口の拡大を目的として、ビジネスホテル誘致を進めてきた。4月23日、市の中心市街地であるコトリエット敷地内へホテル建設にあ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 第 5 期中山間地 域等直接支払制度 について	<p>たり安全祈願祭が執り行われ、ホテル建設がスタートした。</p> <p>(1)市の誘致企業であり令和5年4月1日から工事完了、開業までの期間については、開業準備期間であり無償で貸し付けるなど、開業に向けた支援を行うとされているが、開業後は、具体的にどのような形で関与し、また支援する考えか伺う。</p> <p>(2)平成28年の基本計画の策定から相当の期間が経過し、人口減少、コロナ禍からの経済活動の回復が遅れているなか、商業施設を含め観光を取り巻く情勢も変化している。ホテル開業後の既存の同業施設(旅館、ホテル業など)に対する影響をどのように考えているのか見解を伺う。</p> <p>(3)海潮温泉の天然温泉(運び湯)を用いた大浴場を完備する計画があるが、海潮温泉の泉源は県道沿いにあり運搬する上で安全面に問題がある。市において整備する考えはないのか伺う。</p> <p>中山間地域等直接支払制度は、農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するため、国、県などが支援する制度で、平成12年度から制度化され、令和2年度から第5期対策として取り組まれ、令和6年度が第5期の最終年度である。</p> <p>(1)雲南市における各集落協定の取り組みについて、令和5年度の間年評価(活動状況、目標達成見込み等の点検・評価)を実施された結果とこれに基づく市の指導・助言について伺う。</p> <p>(2)人口減少・高齢化が進む中で、この中間年評価を踏まえ、令和7年度からの次期対策に雲南市としてどのような方針で取り組む考えか見解を伺う。</p>	
5	13	原 祐二	1. 水道メーターの	(1)水道メーターの口径決定における、口径13ミリ及び口径20ミリ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	口径選択について 2. 定員管理計画について	<p>の新設・増設・改造等による、総水栓数と計画使用水量の算定に使用する水栓数、適正なメーター口径を問う。</p> <p>(2) 上下水道局との給水契約における、水道メーター口径 13 ミリ及び口径 20 ミリの新設・増設・改造等による適正使用範囲を問う。</p> <p>(3) 水道利用者のニーズ（安価な料金、口径 13 ミリの選択）への対応（解決）策を問う。</p> <p>(1) 市定員管理計画における、R5 年度実績及び計画期間の採用（予定）者数の新規・中途・再任用等の内訳を問う。</p> <p>(2) 採用（予定）者の新規・中途・再任用等についての選択方法を問う。</p> <p>(3) R5 年度実績及び計画期間中の職種別採用（予定）者数を問う。</p> <p>(4) 計画期間中における、会計年度職員（フルタイム）の職種別見込み数を問う。</p> <p>(5) 計画期間中における、人件費及び人件費率の見込み値を問う。</p> <p>(6) 市が実施する事務事業について、民間委託への検討方法と対応すべき行政需要の範囲を問う。</p> <p>(7) 9 月 1 日採用の職員採用試験における、土木・建築区分の受験資格の設定（建築は建築を専攻し卒業した方）について問う。</p> <p>(8) 9 月 1 日採用の職員採用試験における、受験資格（令和 6 年 9 月 1 日から勤務可能な方）と合格発表（8 月初旬）のスケジュールについて問う。</p> <p>(9) 県内外の短大、高専、大学等との推薦選考による採用について見解を問う。</p>	
6	1	多賀 法華	1. 国際交流について	(1) 昨年 5 月に台湾彰化縣にある二林鎮と雲南市で友好協力の確	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>いても児童生徒が自発的・主体的に成長や発達するための「過程を支える」と明記されていることも改訂のポイント。これをふまえて、雲南省の教育基本計画で変えていく点があるか伺う。</p> <p>②今回の「生徒指導提要」の改訂において、1989年の国連総会において採択された「児童の権利に関する条約」に基づき、児童の権利に関する4つの一般原則を明記された。3月定例会の一般質問で、子どもの権利について質した際に、教職員へのアンケートがあるので活用してほしいと伝えたところ、研修のあとで活用したいというのが前教育長の答弁だった。どのように活用されるか伺う。</p> <p>③子どもの権利条約について、埼玉県さいたま市立大谷場中学校の2年の生徒が教育長に「当事者である全ての子どもが権利条約を知ってほしい」と訴え、条約の4つの柱を全ての市立中学校の生徒手帳に載せる必須項目にすることを求めたということがあった。生徒指導提要の改定をふまえて、子どもの権利条約の4つの柱を生徒手帳に明記すべきと思うがいかがか。</p> <p>④「チーム学校」としての生徒指導のあり方について教育委員会が一緒になって考えていくべきと思うがいかがか。</p> <p>⑤生徒指導提要の中では、生徒指導にICTを活用することで「データを用いた生徒指導と学習指導との関連付け」、「悩みや不安を抱える児童生徒の早期発見・対応」、「不登校児童生徒等への支援の教育効果」が期待されるとしている。市では、ICTを活用した生徒指導に対する効果は現状どのように結果が出ているか伺う。</p> <p>⑥校則のホームページへの公開についてはどのようにお考えか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>⑦校則は、日本国憲法（基本的人権）が最上位の法で、次に子どもの権利条約、こども基本法、その下位にあるものであると思うが、その認識は合っているか伺う。</p> <p>⑧校則の見直しは、各学校どのようにされているか、子どもの権利にのっとして、児童・生徒と共に見直しているのか伺う。</p> <p>⑨「懲戒と体罰、不適切な指導」について。体罰は、分かりやすく減ってきていると思うが、怒鳴るなどの行為はななくなりにくいと思う。命の危険をとまなう時以外で、怒鳴るという行為には、効果が本当にあるのか伺う。</p> <p>⑩特に部活動について伺う。日本スポーツ協会では、NO！スポハラ活動をされている。子どもは、自分が叱られることより、大人がストレスを感じ、気分悪くしている姿にすごくストレスを感じるのではないかと思う。スポーツの指導で、怒鳴ること、怒ることに効果はあるのか伺う。</p> <p>⑪性の多様性と個性の尊重について、改訂された生徒指導提要では、学校における具体的に求められる対応が明記されている。特に服装についてだが、性的マイノリティだけでなく、制服について決められていると負担になっている子もいる。登下校時に制服から体操服に着替えないといけないことや式典での制服着用は、本当に必要なことなのか伺う。</p>	
7	16	細田 実 (一問一答)	1. 第三次総合計画 と人口問題について	(1)民間組織「人口戦略会議」が発表した「消滅可能性」自治体の公表はマスコミで大きく取りあげられた。その中で雲南市は「可能性」自治体から脱し切れていないとのことであるが、それに対する見解を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 環境問題について	<p>(2)総合計画から具体的な基本計画、施策へと進むとのことだが人口減少社会の中であって生活、地域、文化、スポーツ等の向上に活かされる施策をどう取り組むか。</p> <p>(3)便利な生活を送るには都会地と思われるが、この農村地域に住む価値を市長はどのように訴えまちづくりをするのか。</p> <p>(1)脱炭素宣言後の取り組みと成果について。ささやかでも一歩ずつ進むことが大切と思うがその取り組みと市民との連携の推進状況を伺う。</p> <p>(2)一方、全国では環境省の「脱炭素先行地域」としてのモデル事業を取り入れ地域、自治体挙げての取り組みがされている。雲南省の「脱炭素先行地域」への応募方針はいかがか。</p> <p>(3)2027年までに一般照明用の蛍光灯の製造、輸出入が段階的に廃止されるとのことだ。市の公共施設、住宅などLEDへの切り替えの状況と今後の対策を伺う。</p> <p>(4)核のゴミの最終処分が大きな問題だ。島根県知事は核のゴミ最終処分地調査打診があれば断固反対するとの考えを表明された。市長は例えば処分地調査打診が雲南省にあった場合どのように考えるか。</p>	
8	4	上代 純子 (一問一答)	1. 太陽光発電事業について	<p>(1)太陽光発電は、SDG s の目標達成や脱炭素社会の実現に不可欠なクリーンエネルギーだ。この点についての見解を伺う。</p> <p>(2)吉賀町では、太陽光発電設備による災害の防止、環境・景観の保全、町民の安全・安心を確保するために、令和2年にガイドラインの策定、その後、本年4月には県内初となる「吉賀町太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」が施行されたが本市の所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 不妊治療と不育症治療について	<p>(3)2018年9月、関西地方に大型の台風21号が上陸した際に強風によって太陽光パネルの損傷・吹き飛んだパネルによる2次被害が発生したと聞いた。クラシック島根カントリークラブに設置されるメガソーラーは大丈夫か。</p> <p>(4)設置後に反射光等の影響があった場合、市として住民トラブルがないように努めないといけないが、何か考慮されているのか。</p> <p>(5)ソーラーパネルが耐用年数を超えた後、更新、あるいはきちんと撤去されるのか。そうした対応については、国による明確なルール化や法制化を求める必要はないか。</p> <p>(1)本市では、不妊治療や不育症治療に対して助成を行い支援をされている。制度の周知はどのように行っているのか。また、助成金制度の周知は該当者に行き渡っているのか。</p> <p>(2)不妊治療や不育症治療支援事業の助成金交付の実績はどうか。</p> <p>(3)該当者の方には心配や不安も多い。治療を始めることに迷っている方のために、専門知識のある方による相談できる体制はあるのか。</p> <p>(4)県に相談窓口が開設されていると思うが状況はどうか。また、市と県との関りや協力体制はどのような状況か。</p> <p>(5)不妊治療には、男性の理解も重要だが、男性不妊への理解が進まない理由のひとつには、男性に対しての資料や啓発の機会が不足していると言われている。本市ではどのような取り組みをされているのか。</p> <p>(6)当事者の方同志が悩みを相談できる機会がつかれないか。</p> <p>(7)治療を続けても子どもを授けられない場合など、柔軟な相談体制や相談窓口の状況はどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 書店の存続について	<p>(1) 全国の 27.7% の市町村で書店がないとの報道があった。このことについてどう感じたのか。</p> <p>(2) 国は街の書店を支援するため「書店振興プロジェクトチーム」を発足した。また「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」の提言では、現状や課題として「書店がなくなることは、日本の文化の劣化に繋がることを意味する」とあるが、この点についてどのように感じるのか。</p> <p>(3) 提言には、政府の関係各省庁に取り組みを求めるものが掲げられているが、特に図書館との連携、文化活動の支援についてどのように感じたか。</p> <p>(4) 本市は、有り難いことに県内大手の今井書店さんにマルシェリーズに出店いただいている。引き続き専門分野として継続していただきたいが、市として何か情報交換などされているのか。</p> <p>(5) 地域の書店が担う文化発信機能の弱体化が起こらないよう、市としてソフト事業的な支援は考えられないか。</p>	
9	6	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 産業支援について	<p>令和 6 年 3 月の島根県東部の有効求人倍率は、①安来 1.57、②松江 1.52、③雲南 1.42、④出雲 1.36。雲南は、前年度同月より 0.04 ポイント増加となり、3 ヶ月連続で前年同月を上回っている。正社員だけの有効求人倍率をみると、①雲南 1.53、②松江 1.26、③安来 1.24、④出雲 1.15 となり、いずれにしても、雲南圏域の求人倍率は高く多くの企業が人手不足で悩んでいると思う。</p> <p>(1) 雲南市の人手不足対応について伺う。</p> <p>①令和 6 年 3 月雲南市議会定例会の一般質問への回答の中で、人手不足対応について「ふるさと島根定住財団と連携している」との回</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>答があったが、日々どのような事を行っているのか。</p> <p>②「ふるさと島根定住財団」が毎月出している求職者情報は、活用しているのか。</p> <p>③「副業・兼業」での人手不足支援は行っているのか。</p> <p>④インターンシップ希望者へ市内企業の情報提供はどの様に行っているのか。</p> <p>⑤インターンシップ希望者への支援制度は、どのようなものが有るのか。</p> <p>(2)特定地域づくり事業協同組合(協同組合ワークアラウンドうんなん)の状況について</p> <p>本組合は、この事業を活用し、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者等が労働需要に応じた複数の事業に従事することによりスキルアップを重ね、組合員の担い手不足の解消、組合員の事業の維持・拡大を促進するとともに地区における新たな事業展開や付加価値の創出など地域経済の活性化に資することを目的として設立するものであることから伺う。</p> <p>①組合員の担い手不足の解消、組合員の事業の維持・拡大の促進等に寄与しているのか。採用予定数は満たしているのか。</p> <p>②募集時の給与・各種手当等は低くても、それ以外のメリットは有るのか。ここで求める人材は、新卒者ではなく多少現場経験がある人材を求めていると聞いた。そうなるに辞退理由の中に、給与面の低さがあるのではないかと考えられる。経験がある無しとか、都会と地方ではかなりの給与格差がある。そうなれば、よほどの事情が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 子育て支援について</p> <p>3. 障がい児支援について</p>	<p>あれば別だが、給与以外にそれを埋めるメリットがなければ来てくれないと思うが、メリットは有るのか。</p> <p>市の HP に、「宝島社が発行する雑誌「田舎暮らしの本」2024 年 2 月号(2024 年 1 月 4 日発売)に掲載の特集「住みたい田舎」ベストランキングにおいて、雲南市が人口 3 万人以上 5 万人未満のまち部門の「若者世代・単身者」で全国第 1 位に選ばれました。部門別では 3 年連続の全国第 1 位となります。あわせて、「総合部門・子育て世代」の 2 部門につきましても、全国第 3 位に選ばれました。」とあるので伺う。</p> <p>(1)子育て支援の中で、今、行政が特に寄り添うべき人は地域に住む妊産婦・新生児・乳幼児・病人・障がい児・不登校生など様々な人と思うがどうか。</p> <p>(2)令和 2 年の国勢調査において、雲南市は県内でも共働きが多いとあった。ところが令和 6 年 5 月 15 日時点で雲南市が発表した「幼稚園・保育園の入所可能状況」を見ると、0～2 歳児の受け入れ態勢が低く保護者が子どもを預けて仕事に出られない。この受け入れ態勢で、「子育て世代を応援している」と言えるのか。それとも、待機児童から想定するとこれで十分なのか。</p> <p>(3)子育て世代は日本人ばかりではない。市の HP を外国語表記で見て、詳しく知りたいと思い PDF を開くと日本語表記となる。PDF も外国語表記にすべきではないか。これは市の HP 全体にいえること。</p> <p>(1)障がい児の保護者から、市の相談支援事業所の寄り添う体制が不十分との声があった。市は、各事業所の業務をどの程度把握しているのか。</p> <p>(2)障がい児支援制度の創設について、スピード感が必要ではない</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 通学支援について	<p>か。国・県・市の障がい児支援は限られる。家族は仕事にも制限がかけられ十分に働けないケースもある。市は、保護者が困っているという情報を持っていても対応しないケースがあると聞く。支援要請があった場合、結論等はスピード感を持って相手に報告する必要がある。出来ないならなぜできないのか、相手が納得するまで説明することも必要ではないか。</p> <p>(3)保護者は子どもに向き合い、その子の幸せを考えて子育てを行っている。雲南市として保護者に寄り添う体制は十分か。</p> <p>クマが頻繁に市内で出没する。子どもたちの安全・安心を確保するための支援について伺う。</p> <p>(1)クマが出没した地区において、現在、子どもたちの登下校時の対応はどうしているのか。</p> <p>(2)オールシーズン、全学年をバスでの送迎対応に出来ないか。</p> <p>(3)バス送迎について、学校からの距離等の要件緩和ができないか。</p> <p>(4)下校時、学年・地域分けをしての送りはできないのか。</p>	
10	7	宇都宮 晃 (一問一答)	1. 水道インフラについて	<p>上水道行政の所管が先頃、厚生労働省から国土交通省と環境省に移った。水道事業は老朽化、経営悪化などにより土台が揺らいでおり、能登半島地震でもリスクが露呈した。事業を運営する雲南市は県や国と関係を強め各種課題に取り組む必要がある。上水道は、国土交通省が以前から所管する下水道と共通の課題が多く、一元的で効率化や質の向上もはかれるだろう。一方で、公衆衛生が後退することがないように、留意してほしい。</p> <p>(1)人口減少で水の使用量が減り、料金収入だけでは運営費がまかなえなくなると思われるが、如何対応するのか問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 放課後児童クラブについて</p> <p>3. 改正食料・農業・農村基本法について</p>	<p>(2)水道インフラはこの先、更新すべき時期を迎える。施設管理や効率化など市として行う部分はどうなっているのか問う。</p> <p>(3)国土交通省が果たすべき役割は大きいと思われる。多くの技術者を抱え、インフラ全般のノウハウを持っており、出先機関を通じて自治体との接点も多く、技術・運営面の助言や財政支援で現場の取組を後押ししているのではと思われるが現状は如何か問う。</p> <p>(4)水道は基幹的な公共サービスであり、能登半島地震でも重要性が浮き彫りになった。耐震化の遅れが被害の拡大につながったと考えられるが、同様の状況は能登半島に限らない。基幹水道管の耐震適合率はどうなのか問う。</p> <p>(5)需要が減る中で水道機能をどう維持するのか、持続可能なやり方と負担を市民と共に考え、実行に移すのは運営者の責任であるが、見解を問う。</p> <p>市内の放課後児童クラブでは、学校が終わった後、保護者が迎えに来るまで数十名（数名の特別支援学級の児童を含む）の児童を預かっている。</p> <p>(1)何名の職員を置いているのか問う。</p> <p>(2)放課後児童クラブには児童の安全上、資格研修を受けた支援員を何名置いているのか問う。</p> <p>(3)学校が終わった後、宿題等勉強する設備は整っているのか問う。</p> <p>(4)特別支援学級の児童を受け入れる体制はどのようにしているのか問う。</p> <p>改正食料・農業・農村基本法の主要ポイントは次の4点である。</p> <p>①食料安全保障の確保を新たに基本理念に位置付け</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>て</p> <p>4. 地方自治法改正案衆議院通過について</p>	<p>②食料安全保障を「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ国民一人一人がこれ入手できる状態」と定義</p> <p>③食料自給率など複数の目標を設定し、達成状況を少なくとも年1回調査</p> <p>④食料の持続的な供給に向けて合理的な費用を考慮することが必要だと明記し、価格転嫁を後押し</p> <p>(1)生産継続へ価格転嫁後押しとあるが、消費者の理解を得ることが必要になる。また、調査によると政府が補助金を出すべきというのが5割近いものもあった。見解を問う。</p> <p>(2)改正基本法は食料安全保障をポイント②と定義した。食料自給率のほか、肥料や飼料といった農業資材の確保などを念頭に複数の目標を設定し、達成状況を少なくとも年1回調査するとしているが、雲南市でクリアできるのか見解を問う。</p> <p>大規模な災害や感染症の流行など、想定外の事態に国が自治体に対応を指示できるようにする地方自治法改正案が衆議院本会議で可決、通過した。これについて、市長の見解を問う。</p>	
11	2	安田 栄太 (一問一答)	<p>1. さくらのまちづくりについて</p> <p>2. スポーツ施設について</p>	<p>河津桜の観光スポットの一つに大東町春殖地区の赤川堤防がある。毎年3月にさくら祭りが開催され年々観光客が増加している。これにより慢性的な駐車場不足が発生しており、来場者から苦情がある。さくらのまちを推す本市として駐車場を整備する考えはないか。</p> <p>(1)本市にある野球場は照明設備がある所とない所がある。市営大東野球場については以前より照明の設置を希望する声があるが、本市の所見を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 空き家対策について</p> <p>4. 防災について</p> <p>5. 旧海潮中学校について</p> <p>6. 市内経済活性化について</p>	<p>(2)大東公園多目的広場において、現在、ドクターヘリの臨時離発着場となっている。移設について検討、協議を行うとされていたが、どのような状況になっているのか。</p> <p>大東地区連坦地内の危険空き家について、豪雨や台風などの季節を迎え倒壊の危険度がさらに高まり、解体する必要があると考えるが、行政代執行の考えはないか。</p> <p>(1)令和4年に地域自主組織と本市において災害対応に関する基本協定書を交わされた。協定書の中に避難所運営マニュアルを地域自主組織と協働で作成するとあるが、30ある地域自主組織すべてのマニュアルは作成できたのか。</p> <p>(2)大規模災害が発生した際に孤立する集落が発生する可能性がある。今後、避難所等の情報収集や軽量の物資の運搬等にドローンを活用することも考えられるが、見解を伺う。</p> <p>(1)旧海潮中学校は本年3月で閉校となったが、校舎は比較的新しく今後の活用をどのようにしていくのか見解を伺う。</p> <p>(2)海潮小学校は老朽化が進み崖地に隣接しているが、海潮小学校を旧海潮中学校に移設する考えはないか。</p> <p>政府が行う定額減税に併せて消費喚起事業を行うことで市内経済の活性化につながると考えるが見解を伺う。</p>	
12	8	上代 和美 (一問一答)	1. 介護報酬引き下げについて	(1)厚生労働省は今年4月から訪問介護の基本報酬を2～3%引き下げることを決めた。私が話を聞いた事業所でも「減収になり、とても厳しい」と窮状を話された。特に、中山間地を抱える雲南圏域では移動距離が長く、時間もかかり、都会のような密集地とは違う。また「サービス付き高齢者住宅」などと一体になった事業所と「自宅」	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 太陽光発電設備等の設置を規制する単独条例の制定について	<p>へ訪問するのでは効率があまりにも違いすぎる。「高齢になっても住み慣れた自宅で暮らしたい」という思いを支えるのが訪問介護事業である。ここ数年事業を休廃止する事業所もあるが、この介護現場の状況をどのように認識しておられるのか見解を伺う。</p> <p>(2) 通所介護でも今年度の介護報酬改定で運動器機能向上加算が廃止された。これまで利用者の日常生活の維持や改善を目的に続けてこられた事業への報酬廃止は専門職として頑張ってきた職員のモチベーションを引き下げることにつながるのではないかと。市として総合事業等に対する独自の支援ができないのか。市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 介護現場は訪問介護に限らず大変な状況である。介護保険制度は制度が生まれたときから「保険あって介護なし」と言われてきた。どんどんサービスが保険からはずれ、利用者負担が引き上げられ、保険料の値上げもされている。利用者が安心して使える制度、介護事業者が経営持続できる制度、ケア労働者が誇りを持てる、また、他産業と遜色ない賃金で働ける制度にするために、市でできる最大限の支援をすべきだ。また、現場の声を聞いて、国に介護保険制度の改善を求めるべきと思うが、市長の見解を求める。</p> <p>(1) 脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーとしての太陽光発電の普及が進んでいるが、近年、設置地域の環境問題や生活環境への影響などで住民トラブルが発生するケースが増えている。設置や管理、廃止時の処分などについて市として一定のルール化が必要ではないか。2024年3月29日時点で都道府県8条例をふくむ276自治体が太陽光発電単独あるいはそれを含む再生可能エネルギー設備について規制をする条例を制定している。島根県では吉賀町が「吉</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 原発問題について	<p>賀町太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」を今年3月に制定している。不耕作地を利用した太陽光発電設置について住民からの不安の声も寄せられている。市として、きちんとした条例をつくるべきではないか。市長の見解を求める。</p> <p>(2)雲南市環境基本条例第13条第2項で「市は、人の健康又は生活環境に支障を及ぼすおそれがある行為について必要な規制の措置を講ずるよう努めるものとする」とある。他自治体にも習い、太陽光発電に限らず風力発電などもふくめ、必要な規制を具体化（ガイドライン、条例化など）し、市民が安心し、納得ができるようにすべきである。市長の見解を求める。</p> <p>(1)2024年8月に予定されていた島根原発2号機の再稼働が12月に変更になったが、原発を動かすことによって、さらに増え続ける使用済み核燃料をどう処理し、最終処分するかがますます大問題となっている。そこでいくつか伺う。</p> <p>①5月9日、丸山知事記者会見の中で、「佐賀県の玄海町が処分地選定にむけた第1段階の文献調査を受け入れるかどうか（現在は受け入れている）が注目されているが、島根県も原発を立地する中で知事の所見を伺いたい」との問いに、知事は「私は原子力発電所、2号機、そして3号機を抱える島根県として、少なくとも私はそんな話があったら全力で反対する」と応えられていた。言い換えれば、あふれた使用済み核燃料は島根県では受けこまないと解するが、市長はこの知事見解を率直にどう思うか伺う。</p> <p>②青森県六ヶ所村の再処理工場は2024年上期に稼働予定と説明されているが、稼働の見通しが立っていない。核燃料サイクルの破綻</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>は明らかである。再稼働すればどんどん増えてくる使用済み核燃料をどこへ持っていくことになるのか。もうこれ以上危険な「核のゴミ」を増やし続け、将来世代に押し付けることは許されない。再稼働はストップさせるべきではないか。市長の見解を求める。</p> <p>(2)3月定例会の私の一般質問に対する答弁で、市長は1)島根原発2号機再稼働は安全確保を大前提に、2)避難対策、3)再稼働の必要性など総合的な観点から(再稼働の)判断を行った。判断に変わりはない。と答弁されたが、いくつか伺う。</p> <p>①再稼働すればいずれはプルサーマル発電が計画されている。長崎型原爆の材料にもなったプルトニウムを燃やす危険なプルサーマル発電は安全なのか。</p> <p>②能登半島地震の教訓は島根半島でも同じような被害が起こることを物語っている。原発事故との複合災害が起これば逃げ場がないことは明らかであり、市民、県民の安全を保証するには原発を動かさないことである。見解を求める。</p> <p>③市がめざしている原発に頼らない社会をめざすには、再生可能エネルギーの普及拡大が必要であるが、再生可能エネルギーを抑制しているのが原発であり、火力発電である。需給バランスをとるために原料コストがいらぬ再生可能エネルギーが抑制され捨てられている。原発をやめ、再生可能エネルギーが有効に活用されるようにシステムを変えたり、多様なエネルギーの組み合わせや蓄電など技術を駆使し、「原発ゼロ」と一体に地域経済の再建をすべきと思うが、市長の見解を求める。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
13	11	松林 孝之 (一問一答)	1. 高齢者福祉について	<p>本市の人口減少は止まらず、不名誉な消滅可能性自治体として取り上げられた。福祉施策は重要度を増す中、少子高齢化が加速し、支える・支えられる人のバランスが悪くなり一律の制度では対応しきれなくなる。</p> <p>(1)訪問介護事業について</p> <p>①令和6年度、国の介護報酬の改定により、唯一訪問介護事業だけがマイナス2～3%の改定となり運営が厳しくなってくると予想されるが対策は。</p> <p>②質の高い介護サービスを提供している事業所を評価する加算制度として「特定事業所加算」があるが、市内事業者の取得実態は。</p> <p>③特別地域訪問介護加算対象地域制度はあるものの、市内のごく一部に留まる。対象地域外の中山間地域小規模事業所加算の取得実態は。</p> <p>④雲南市介護人材就労支援継続奨励金制度がスタートしたが申請状況は。</p> <p>⑤人口減少、高齢化が進む一方、在宅介護支援の利用者や特別養護老人ホームの定員充足率が低下しているが原因は。</p> <p>⑥サービス付き高齢者住宅は、在宅介護の一部事業として市内外において民間が運営され、利用者は増加傾向である。入所者が支払う利用料の一部を住所地自治体が負担することとなっているが、住民票の移動等の実態把握はできているか。</p> <p>(2)養護老人ホームについて</p> <p>①昨年12月6日の新聞報道では、島根県内に養護老人ホーム入所待機者が442人とのことであった。宇寿荘は市内唯一の養護老人ホーム</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 障がい者福祉について</p> <p>3. 児童福祉について</p>	<p>ムであり、ニーズはあるものの2階建てエレベーター無し、2人1部屋等の状況から稼働率は低下している。(県内23施設中2人部屋は2ヶ所)措置権者としてこの実態をどう捉えるか。</p> <p>②措置施設であるが利用者の市外流出の実態もある。制度上、市の負担も発生する中、本来は市内に留まっていたきたいが利用促進を図るための対策が必要では。</p> <p>③建設後40年を経過し当時の状況とは異なり、感染症等も含め衛生面で課題がある。近い将来更新が必要となるが方針を伺う。</p> <p>(1)民間事業者が整備する障がい者就労継続支援事業への助成が提案された。施設活用ニーズは増える一方であり、障がい者の就労の具体的業務を拡大する必要がある。行政業務の一部や、地域活動等のアウトソーシングを進めてはどうか。</p> <p>(2)シルバー人材センターのような、地域の草刈り事業。商工会、JA等開催の地域イベントサポート事業等への人材派遣として第2の雲南市人材センター的な支援策を構築してはどうか。</p> <p>(3)介護報酬の改定で視覚障がい者の訪問介護の報酬単価が引き下げられ、事業の継続ができなくなり、利用者は大変困っている。弱者支援こそ行政業務の最優先事業と考えるが見解をうかがう。</p> <p>(1)2010年代中盤では待機児童対策が全国でも大きく取り上げられ、市内にも保育施設が新設、増設されたが、10年も経たないうちに入所児童が減少し市内施設の一部が閉鎖された。事業継続の為にスタッフと児童数の確保が絶対条件である。継続的な運営が可能な対策を講ずるべきでは。</p> <p>(2)保護者の子育て支援、保育施設スタッフの働き方改革や負担軽減</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 福祉施策と産業 について	<p>の一端として、「おむつのサブスク」という事業がある。保育施設を利用する児童も含め全ての0～3歳児に対し、「おむつ代支援」として市独自の子育て応援給付金を支給してはどうか。</p> <p>(1)各福祉事業現場は有資格職員を要する業種であるが、職員の高齢化や担い手不足が顕著であり、スタッフが減少する中、市として人材確保、人材育成が必要ではないか。</p> <p>(2)社会福祉法人がそれぞれの地区にある意義こそ重要で継続は不可欠。重要な雇用の場であり、地場産業の一部として位置づけ政策展開すべきと考えるが所感を伺う。</p>	
14	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. 管理職評価について 2. ハラスメント事	<p>民間企業においては従事するスタッフの評価は常に行われているものと認識している。その評価は昇進や昇給の参考材料となっている。業績を伸ばしているベンチャー企業などの中には、スタッフが上司を評価するという制度を創設している企業もある。このことにより労使間でのコミュニケーションも良好となりハラスメントの抑止にもなっている。</p> <p>(1)市役所及び市立病院における職員の評価はだれがどのように行っているのか伺う。</p> <p>(2)市役所及び市立病院における管理職の評価はされているのか。されている場合、だれがどのように行っているのか伺う。</p> <p>(3)風通しの良い職場環境を作るには、言いたいことを言える環境の構築が必修である。中央省庁をはじめ一定の自治体では「360度評価」を行っている。職員がどのように管理職を見ているかを知るために、管理職評価制度を構築するべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>3月定例会において市立病院でのハラスメントによる退職者の有</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>案の取り扱いと内部通報制度の強化について</p> <p>3. 監査請求について</p>	<p>無の質問をした。それを踏まえ質問をする。</p> <p>(1)3月定例会の答弁で「ハラスメントによる退職者がいるが当該事案に關与した職員に対しては懲戒処分なし」に対して疑問を受けた。意図せずハラスメントにより退職せざるを得なかったとすると、退職者の生活に与える影響は大きいと考える。關与した職員に対する処分がないのであれば、ハラスメント防止に対する取り組みに疑義を感じた。さらに同等事案の再発の可能性は否定できないものと考ええるが答弁の真相を伺う。</p> <p>(2)内部通報制度に関して5月に報道された事案として「粉末飲料の異物混入」に対する公益通報からの内部通報に至った事案があった。この事案は、内部通報制度の穴を露呈させたものと考ええる。制度の有効性を高めるために市役所及び市立病院に対して常設の外部窓口と第三者委員会の設置を検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>4月2日に「雲南市 浄化槽管理過払い」住民監査請求990万円返還求めるとの記事が読売新聞に載った。この新聞報道と議員に提供された監査請求の資料をソースとして質問する。</p> <p>(1)掲載された新聞記事を市としてどのようにとらえているか伺う。</p> <p>(2)記事の後段に「数年前から差額を把握していたが支払いを続けている」とある。監査結果との間に違和感があるがどのように解釈すべきか。</p> <p>(3)監査結果には「本単価契約方法の継続にあたっては、妥当な汚泥引抜見込量(固定量)の設定基準を設け、取り組まれたいとの意見があった。今後の対応について伺う。</p> <p>(4)本件に対しては、マスコミ報道がされているため説明を求める意</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 名誉市民選考について	<p>見が一定数あることも事実である。市民に対する説明責任の在り方を伺う。</p> <p>合併 20 周年を迎えるにあたり、名誉市民の選考が行われた。選考過程は公表できないとされたものの、若干の経過報告が総務常任委員会及び全員協議会で行われた。名誉市民選考審議会で審議・決定されたものであり、異論を挟むものではないと考える。</p> <p>(1) 上代タノ先生も推薦されたとの報告があった。タノ先生の功績は高貴なものである。また、日本全体に及ぶ比類無きものである。この功績をさらに広めていくような機会を、教育委員会等で協議しながら設けていくことがよいのではないかと意見があったとのことである。どのような方法が考えられるか見解を伺う。</p> <p>(2) 名誉市民に故人を推薦しにくいのであれば、功績を検証するような枠組みを創設できないか見解を伺う。</p> <p>(3) 合併 10 周年時の男女共同参画都市宣言に基づき、女性の功労者をもっと顕彰することが大切であると考え。積極的な顕彰に向けての見解を伺う。</p>	
15	15	周藤 正志 (一問一答)	<p>1. 消滅可能性自治体をいかに脱却するか</p> <p>2. 第 3 次雲南市総合計画について</p>	<p>人口戦略会議が出した消滅可能性自治体の県内 4 市町の中に本市が含まれていた。「住みたい田舎ランキング 3 年連続 1 位」や一番力を入れている「人口の社会増」の取組とは裏腹な状況に口惜しい限りだ。どのような戦略でもって脱却する考えか。</p> <p>(1) 第 2 次総合計画をどう総括したのか。何が合格点で何が不十分でもっと力を入れるべきだったのか。</p> <p>(2) これからの時代は、人口減少と公共施設・インフラの老朽化との闘いとなる。基本構想における将来像を「えすこな雲南市」として</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 厳しさを増す行 財政運営について</p> <p>4. 新教育長の基本 的な考えについて</p> <p>5. 産業振興ビジョ ンについて</p> <p>6. あめつちと木次 線存続について</p> <p>7. ゴミの分別と新 処理施設について</p>	<p>いるが、果たしてこの危機感が与件として前提され、共有されているのか。</p> <p>(1) 令和6～10年度の実施計画では、約180億円のハード事業が盛り込まれているが、新たなニーズへの対応や物価高騰などにより大きく膨らむのではないかと。</p> <p>(2) 中期財政計画では、令和9年度を調整弁の年としているが、基金の取り崩しなど綱渡りの財政見通しである。大型事業が山積しており、行政サービスの低下や市民生活に支障をきたさない財政運営が本当にできるのか。</p> <p>(3) ふるさと納税に力を入れていくとのことだが、具体的な方策と目標はどうか。</p> <p>(4) 公共施設等総合管理計画の着実な実施が不可欠であるが、計画どおり進捗しているのか。不要な資産の処分が進んでいないように思うが、今後の見通しはどうか。</p> <p>雲南市の教育について、何が良くて何が不十分と考えているのか。どこに力を入れてどういう教育を目指すのか伺う。</p> <p>第2次産業振興ビジョンが今年度で終了するが、現時点でどう総括しているのか。また次期ビジョンの方向性を示されたい。</p> <p>(1) あめつちの運行が始まったが乗客の評価はどうか。また、どのような周遊観光が実施されているのか。</p> <p>(2) 最近の木次線利用客の推移はどうか。また、運休が多いように思うが、運行状況はどうか。代替は問題なく行なわれているか。</p> <p>(1) 本市のゴミの分別は他市に比べ極めて煩雑であり(例、ラップ、貝がらなど)もう少し簡便にできないのか。また、ペットボトルや食</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>品トレイなどは民間はリサイクル、市は燃えるゴミとなっているが統一すべきではないか。</p> <p>(2)新しいゴミ処理施設の整備に当たっては、ゴミの分別は簡便にすべきであり、それにそった処理方法を早急に決める必要があるのではないか。</p>	